

Q<integer>W	every <integer> weeks 週毎
Q<integer>L	every <integer> months (Lunar cycle) 月毎
Q<integer>J<day#>	特定の曜日に繰り返す。Jはフランス語のjour(day)から。もし<整数>がないならば、繰り返しレートは1と仮定する。日付の番号は、1=月曜日から7=日曜日までカウントする。それゆえQ2J2は第2火曜日毎、Q1J6は、土曜日毎を意味する。
BID	1日2回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-4PM)
TID	1日3回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-4PM-9PM)
QID	1日4回、施設が決めた時刻(たとえば、9AM-11AM-4PM-9PM)
xID	1日"x"回、施設が決めた時刻、Xは数字5より大。(例えば5ID=一日5回、8ID=一日8回)

注：上記の4つの指定はいずれもそのQ<整数>H対応と同等ではない。たとえばQIDは、Q6Hではない。前者は不等間隔に置かれる；後者は等間隔に置かれる。

QAM	朝に、施設が決めた時刻に。
QSHIFT	3回の8時間シフトの各々の間で、施設が決めた時刻に。
QOD	隔日(Q2Dと同じ)
QHS	毎日就寝前に。
QPM	夕方、施設が決めた時刻に。
C	サービスの提供は連続的に初めの時刻から終わりの時刻まで
U <spec>	将来使用のため、<スベック>がUNIXのクローンで定義された時間隔仕様である場合。
PRN	必要時に、頓用
PRNxxx	頻度コードxxx、たとえばPRNQ6Hで、必要時に頻度期間で
Once	一回、数量タイミングがヌルの場合のデフォルト値
食事に関連したタイミング	<timing>C ("cum")<meal>
A	Ante (before) 前
P	Post (after) 後
I	Inter 間 (例、食間)
M	Cibus Matutinus (breakfast) 朝食
D	Cibus Diurnus (lunch) 昼食
V	Cibus Vespertinus (dinner) 夕食
例：朝食前一回ACM、夕食後一回PCV	

### Explicit time interval subcomponent 明確な時間間隔の副成分

定義： 次の書式において、第1副成分のコードによって参照された実際の時刻を明確にリストする：HHMM,HHMM,HHMM,...。この第2副成分は、実際の投薬時刻が施設内で変化する場合等、第1副成分を明らかにするために使用される。オーダーの期間が1日を超えるならば、この新しい副成分が実際に役立つのは次の場合に限る。すなわち同じ投薬時刻がオーダーの各々の日に対して発生する場合である。オーダーの実際の開始時刻(数量/タイミングフィールドの第4副成分によって与えられる)が、リストの最初の明確な時刻の後であるならば、最初の投薬は、開始時刻の後の最初の明確な時刻とする。患者が明確な時間の異なったセットを持っている場所へ移動する場合、現在のオーダーは、変更された明確な時間を示している新しい数量/タイミングフィールドで更新される。

時刻は hhmm、就寝時は HS、食事に関連したタイミングは xCy で記述される。

x : A 前、P 後、I 間、 y : M 朝食、D 昼食、V 夕食

Ex: 数量/タイミングフィールドの第2成分 : ...^QID&0230,0830,1430,2030^...

1日3回食後 ^TID&PC

### Duration component 継続時間成分

定義： サービスが開始された後で、サービスがどのくらい長く続くかを示す。デフォルトは、INDEF(不定)である。この成分は、以下の通りにコード化される：

S<integer>	=	<integer> seconds 秒
M<integer>	=	<integer> minutes 分
H<integer>	=	<integer> hours 時間
D<integer>	=	<integer> days 日
W<integer>	=	<integer> weeks 週

L<integer>	=	<integer> months 月
X<integer>	=	オーダーで指定された時間間隔成分の繰り返し回数。2つの血液培養に対する要求 Q2H X3、2つの血液培養を3つの異なった時刻に2時間おきに入手して合計6つの血液培養を入手するという意味である。
T<integer>	=	明記されている時間間隔と量で、合計の<整数>『DOSAGE』が蓄積されるまで。単位は、「数量」フィールドにおけると同じであると仮定される。
INDEF	=	期間を特に定めない(不定)-同様にデフォルト

### Start date/time component 開始日時成分 (TS)

定義：依頼者によって規定される。その場合それはサービスを開始する必要がある最も初めの日時を示す。多くの場合、しかしながら、開始日時は、オーダーレコード(たとえば、(緊急)-STAT)の他のフィールドによって示唆されるか、あるいは定義される。そのような場合、このフィールドは空となる。

実施者サービスは、オーダーを受領後このフィールドの値をしばしば記録する。一方実施サービスの内部使用のために、開始日時を基礎にして終了時刻を計算する

### End date/time component 終了日時成分 (TS)

定義：サービスを要求する人によってこの値が指定された時は、このフィールドはサービスが行なわれるべき最後日時である必要がある。ここで明示された時間までに行なわれなかったならば、それは行うべきではない。要求する人がこの値を満たすとは限らない。しかし実施者サービスは、それが受け取る指示および実際の開始時間を基礎として、満たしてもよい。

終了日時の値に関係なく、サービスは、継続時間または終了日時によって指定された最も早い日時に終了すべきである。

### Priority component 優先度成分 (ID)

定義： 要求の緊急度を述べる。次の値が提案される(優先度のデフォルトはRである)：

S	=	緊急	最も高い優先度で
A	=	できるだけ早く	Sオーダーの後
R	=	ルーチン	デフォルト
P	=	術前	
C	=	返信	
T	=	タイミングがクリティカル	要求は、要求された時間に最も近いことが重要であるという意味である。たとえば、抗生物質血中濃度である
PRN	=	As Needed	

値『T』(タイミングクリティカル)の程度は次のように明示できる：

Format:

TS<integer>	=	秒以内で
TM<integer>	=	分以内で
TH<integer>	=	時間以内で
TD<integer>	=	日以内で
TW<integer>	=	週以内で
TL<integer>	=	月以内で

オーダーの連続指定の場合、これらの値は、先行オーダーから後に続くオーダー全部に対してタイミングの重要性を規定する。優先度成分を反復する場合はスペースで区切る。

### Condition component 条件成分 (ST)

定義： これは、投薬条件を記述するフリー・テキストフィールドである。たとえば、「PRN pain」、「血圧を110以下に保て」など。このフィールドにテキストが存在する場合、投薬方法または投薬時期(あるいはその両方)を決定するため人間が見直す必要がある。

### Text component テキスト成分 (TX)

定義： 指示(オプション)の完全なテキストバージョン。

### Conjunction component 連結成分 (ID)

定義： この成分がnullでなければ、反復区切り文字を使用して、2番目のタイミング指定を後に続ける。このフィールドは3つの値を採ることができる：

a) S = Synchronous 同期

今回の指定の後に次の指定を行う(ORC-4<sup>4</sup>-開始日時、およびORC-4<sup>5</sup>-終了日時成分により制限を受けなければ)。

”S”指定は、最初のタイミング・シーケンスの後に2番目のタイミング・シーケンスが続くことを示す。たとえば、最初の1時間はQ15分ごとに血圧を測定し、次の日には2時間ごとに血圧を測定するよう依頼する。

b) A = Asynchronous 非同期

今回の指定と並行して次の指定を行う(ORC-4<sup>4</sup>-開始日時、およびORC-4<sup>5</sup>-終了日時成分により制限を受けなければ)。連結”A”により、投薬時などに散見される、2つの指示の並行指定が可能になる。たとえば、月曜、水曜、金曜にプレドニゾン1錠、火曜、木曜、土曜、日曜には1/2錠。

c) C = This is an actuation timeこれは開始時間である

このコードの後にはサービスの終了時間が続く。このコードにより、サービスを起動すべき(採血など)時間・優先度から、サービスを終了すべき(結果報告など)時間・優先度が区別できるようになる。

連続サービスあるいは循環サービスの場合、サービスを実際に停止するポイントは、成分ORC-4<sup>5</sup>-終了日時またはORC-4<sup>3</sup>-継続時間の、どちらかより早い停止時間を示す成分により決定される。通常、この2つの成分のうち1つだけが存在する。しかし以下のような指定によりEKGを要求した場合は、反復数(3)のほうがより早い停止時間を定義しているのので、EKGは3日間だけ実施されることになる。

^1^AQAM^X3^D10

### Order sequencing component (complex)オーダーシーケンス化成分

定義： 実際の現場ではさまざまな状態が想定される。たとえば、あるまとまった点滴(IV)溶剤を要求するオーダーを作成した場合は、個々の点滴溶剤(各々それ自体が1個のオーダー)のシーケンスを指定する必要がある。

また、“PRN pain”などある種の結果条件がオーダー指示に含まれる、というような状態も考えられる。現在は、ORC-4-数量/タイミングのフリー・テキスト“条件”成分により任意の条件を指定することができる。しかし、完全にコード化したオーダー・シーケンスあるいは結果条件をサポートするために、次のパラグラフでORC-4-数量/タイミングの第10成分を定義した。

この第10成分をサポートするシーケンス化条件は、あるオーダーの終了に基づく。

第11成分以降は将来に備えた予約であり、オーダーの実行前に複数の条件を評価するよう指定するのに使用する。将来をにらんだこのような指定により、現在の数量/タイミング定義との上位互換性が保たれる。

注記： 第10成分が存在する場合、第7成分(条件成分)は、依頼のさいに表示されるテキスト“注記”とみなされる。すなわちシステムは、このテキストをシーケンス化指定の一部として解釈することはない。

### シーケンスの副成分

シーケンス条件を定義するために、数量/タイミング・フィールド成分の第10成分は、図4-7に示す副成分に分割される

図 4-7. オーダー・シーケンスの副成分

Subcomponent	Contains	Notes
1	シーケンス/結果フラグ	Sはシーケンス状態; Cは循環; R は将来の使用のためリザーブしてある。
2, 3	依頼者オーダー番号	必須/オプション: 2つの副成分を使用する; 何故なら依頼者オーダー番号は2つの副成分を持つためである。HL7では副成分の副成分は定義していない。
4, 5	実施者オーダー番号	必須/オプション: 2つの副成分を使用する; 何故なら実施者オーダー番号は2つの副成分を持つためである。HL7では副成分の副成分は定義していない。
6	シーケンス状態値	許容状態値は、プロジェクト計画法で通常使用される形を持つ: <one of "SS", "EE", "SE", or "ES"> +/- <time>
		1文字目は先行オーダーの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。先行オーダーは、副成分1、2又は3、4の依頼者又は実施者オーダー番号によって定義される。
		2文字目は後続オーダーの開始時間(S)又は終了時間(E)を意味する。この後続オ

Subcomponent	Contains	Notes
		オーダーは、ここの数量/タイミング仕様を含むオーダーである。時間として、先行および後続の始まり又は終わりの間隔を指定する(下記に例を示す)。
		<p>&lt;時間&gt;の定義:</p> <p>S&lt;integer&gt; &lt;integer&gt; 秒</p> <p>M&lt;integer&gt; &lt;integer&gt; 分</p> <p>H&lt;integer&gt; &lt;integer&gt; 時間</p> <p>D&lt;integer&gt; &lt;integer&gt; 日</p> <p>W&lt;integer&gt; &lt;integer&gt; 週</p> <p>L&lt;integer&gt; &lt;integer&gt; 月</p>
7	最大繰り返し数	最大繰り返し数が使用されるのは循環グループだけである。繰り返し総数は、最後の繰り返しの終わりの日付/時間又は親の終わりの日付/時間のうち、最初に来る方によって制約される。
8,9	依頼者オーダー番号、最後の2つの成分	要求/オプション:依頼者オーダー番号の最後の2つの成分を含んでいる:普遍的なID(ST)および普遍的なID・タイプ(ID)(それぞれ)、依頼者オーダー番号がE1データ型であるので、2つの副成分を使用する。我々はHL7では副成分を定義していない。
10,11	実施者オーダー番号、最後の2つの成分	要求/オプション:依頼者オーダー番号の最後の2つの成分を含んでいる:普遍的なID(ST)および普遍的なID・タイプ(ID)(それぞれ)、依頼者オーダー番号がE1データ型であるので、2つの副成分を使用する。我々はHL7では副成分を定義していない。

使用上の注意:以下を仮定する。

先行オーダーは、「ORC-4-数量/タイミング」の第10成分の副成分2と3において、依頼者オーダー番号としてOE1000&OrdEntにより定義される。

後続オーダー、つまり今回のオーダーは、ORCセグメントに依頼者オーダー番号OE1001^OrdEntを持つ。

次のシーケンス条件値の意味を説明する。

ES + 10M 「OE1000&OrdEnt(先行オーダー)の終了時間 + 10分」により、後続オーダー、OE1001^OrdEnt(今回のオーダー)の開始時間を定義する;つまり、先行オーダーが終了してから10分後に、このオーダーを開始せよ、ということ。

SS - 10M 「先行オーダーの開始時間-10分」によりこのオーダーの開始時間を定義する。つまり、先行オーダーの10分前にこのオーダーを開始、ということ。

### 循環依頼者グループ

反復すべき循環オーダーがある場合、実行される最初のオーダーは、アスタリスク(\*)で始まる“シーケンス条件値”を持つ。

Example:

\*FS+10M 第10成分に指定された条件を評価せずに、このオーダーを1回実行する。指定された外部オーダーの開始・終了日時がこの条件に合致したときのみその実行を繰り返す。このように指定すると、各サイクルでオーダーが1回反復される。

注記: オーダーを繰り返すには、依頼アプリケーションは、最初のオーダーの数量/タイミングを指定する際に、サイクル内の最終オーダーの依頼者オーダー番号を指定できなければならない。

親子パラダイムを使用して、4つのIVオーダーから成る循環グループを指定するには、親はIVのカスタム・グループを指定する。すると、以下のように処理が実行される。

2番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、それが1番目の子オーダーに続くことを示す。

3番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、それが2番目の子オーダーに続くことを示す。

4番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、それが3番目のオーダーに続くことを示す。

4つの子オーダーから成るグループを循環的に繰り返すには次のように処理が実行される。:

1番目の子オーダーのORC-4-数量/タイミングは、この子オーダーが、他のオーダーが終了したかどうかとは無関係に、1度実行されることを示す。

この子オーダーが2回目に実行されるのは、4番目のオーダーが終了してからである。

このスキームにより、下記情報を追跡することができる:

親オーダーのレベルで返答すべきオーダー・グループ全体の状態。

対応する子オーダーの状態をフォローすることによって、IVオーダーそれぞれの状態。  
 個別のオーダー例：同じグループのオーダーは、その数量/タイミング・フィールド内のデータによってのみ連携させることで、4つのオーダー(共通の親のない)を1グループとして送ることができる。この場合HL7では、グループ全体のオーダー状態をまとめて伝送する便利な手段がないので、4つのオーダーの個々の状態を別々に伝送するしかない。

### オーダー状態の継承

キャンセル/中断/保留オーダー制御イベント：  
 ここでは、指定された先行オーダーが通常通り実行されることを想定している。したがって、先行オーダーのキャンセル(あるいは中断、保留)は、後続の関連オーダーすべてを取り消す(あるいは中断する、保留する)ことを意味する。  
 参照されているオーダーが取り消された(あるいは中止、保留された)場合、今回のオーダーはそれと同じ状態を継承する。  
 保留の場合、先行オーダーの保留を解除することは、その該当オーダーも解除するという意味である。(したがって、そのオーダーは第10成分内の指定にしたがって実行することができる。)

### 3.6.2 透析前後の検査依頼方法

透析前後の検査依頼は前と後の依頼を別々のORMメッセージでも前後をまとめたORMメッセージでもかまわない。ただし、OBRセグメントは前後別々にし、OBR-27数量/タイミングの優先度とテキストで前後の区別をする。

例： 1^~~~~P^~透析前 1^~~~~透析後

### 3.6.3 数量/タイミングの使用例

3^once

指定時刻にサービスを実行する。たとえば、3単位の輸血を1回実行せよというオーダー。

1^QHS^X2

就寝時にサービスを2回実行する。たとえば、2夜連続、就寝時に1単位の輸血。

1^CA^3D

3日間サービスを継続する。

1^Q1H^X4^~~~~PVCs>10/min

患者のPVCが毎分10を越える場合は、最大4回、1時間ごとにEKGを実行する。

1^Q2J^A^1432

毎週火曜日、午後2:32にサービスを実行する。

1^~~~~198911210800

11/21/89 0800前に検査を実行する。たとえば手術前の臨床検査。

1^Q3600S^X5^198911051030

11/5/89の午前10:30より、5時間に渡って、1時間ごとにサービスを実行する。血糖採取など。

1^QAM^X3^~~~~S~1^QOD^4D^~~~~if K+>5.5.

3日間毎朝サービスを実行し、血清カリウムが5.5を越える場合、4日間(つまり最大2回)1日おきにサービスを朝に実行する。

^^^198812120800^^T^^Trough specimen for MICAC-^^^^R

12/12/1988午前8:00きっかりに採血し、ルーチンにしたがい結果を報告する。

## 3.7 検査結果コメントの扱い

検査結果コメントを必要とする場合、必要とするOBXに続いてNTEでコメントするか、検査項目IDを接尾辞で修飾することによりOBXを追加する方法がある。コメントの性格が明確になる後者の方法を推奨する。以下にその方法について解説する。

### 3.7.1 OBXに伴う叙述的報告について

放射線科などの部門から送信される読影レポートは通常、多くの副成分から構成される(たとえ

ば胸部X線レポートは、記述、診断、指導から構成することができる)。心電図などのその他の検査には、そのような類似の成分だけでなく数値検査(左心室拡張期の直径など)も含まれる。外科病理学レポートには、採取部位、概略記述、詳細記述および各検体の仮診断など複数の検体・レポート関連情報を含むことができる。

HL7は、叙述的報告共通成分に使う検査IDを構築するためのコード接尾辞を定義した(図7. 1を参照)。そのような成分に使う検査項目は、適切な接尾辞を検査群ID(どのようなコーディング方式の場合でも先行OBRの「OBR-4-検査群ID」内のID)に連結することで得られる。たとえば、胸部X線診断用の検査IDは、胸部X線検査ID(CPT4の場合、71020)、副成分区切り文字、それに接尾辞“IMP”から構成される(つまり71020&IMPになる)。

送り手と受け手が合意した場合、結果セグメントの“検査ID”成分は、先行OBRの検査IDと同じならば、オプションで省略することができるだろう。この場合、結果セグメントのOBX-3-検査項目内には&IMP、&RECなどと記述して、&と接尾辞だけを送信すればよい。

図 7-1. Observation ID suffices 検査項目接尾辞

Coded Results	Suffix	Type
Diagnostic Impression 所見	IMP	CE
Recommendation 指導	REC	CE
Confirming Procedures 処置確認	CNP	CE
Procedure Medication 投薬治療	MED	CE
Anatomic Site 部位	ANT	CE
Device/Instrument 機器/器具	DEV	CE
Serial # Device/Instrument 機器/器具の連番	SER	ST
<b>Bulk Text Reports テキスト・レポート</b>		
Gross Or General Description Of The Study 検査の概略記述または概要	GDT	TX or FT
Microscopic Or Secondary Description 詳細または2次的記述	MDT	TX or FT
Technician's Comment 医療技術者のコメント	TCM	TX or FT
Addendum Note 追加メモ	ADT	TX or FT
<b>Other その他</b>		
Diagnosis Onset Date/Time 診断開始日時	ITM	TS
Diagnosis Resolution Date/Time 診断終了日時	RTM	TS
Comparison Study 比較検査	CMS	CE
Comparison Date/Time 比較日時	CMT	TS
Comparison Results 比較結果	CMR	CE
Comparison Change 比較変化	CMC	CE
Predicted Value 推定値	PRD	ST
Percent Predicted 推定率	PPR	ST
After Drug Observed 投薬後観察	AFD	ST
Predicted Value After Drug 投薬後推定値	ADP	ST
Percent Predicted After Drug 投薬後推定率	APP	ST
Timing Information タイミング	TIM	TS
Channel Definition Data チャンネル定義	CHN	CD
Waveform Digital Data 波形デジタルデータ	WAS	NA or MA
Waveform Annotation 波形注釈	ANO	CE

### 3.7.2 叙述的報告のために検査IDを定義する接尾辞の解説

#### Diagnostic impressions 所見(IMP)

接尾辞がIMPの場合結果は診断か所見でありCEデータ型として保管される。僧帽弁脱出症と大動脈弁狭窄症などの複数の別個の診断が報告されている場合、それぞれの診断は個別のOBXセグメントで送るべきである。1個のコード化結果セグメントに複数のコードが含まれているのは、そのようなコードが主要診断の修飾子である場合に限られる。つまり主要診断に関する追加詳細情報を報告するためであり、全く異なる診断を報告するためではない。

所見用コード化データ型が存在するからといって、報告部門でそのような所見をすべて実際にコ

ード化しなければならないということではない。所見は書き取りテキストとして送信できるが、テキストは、CEデータ型の第2成分で送信することにより、コードを区別すべきである、つまり、テキストの前には成分区切り文字を記述すべきである(たとえば、うっ血性心不全のように)。複数のテキスト所見が報告されている場合、個別のOBXセグメントで報告し、それらのテキスト所見が別個の所見であることを示すべきである。

### **Recommendations 指導(REC)**

接尾辞がRECの場合、その値はCE結果であり、反復テスト、フォローアップ、あるいは治療に関する読影医師の指導を表わしている。たとえば、疑わしい病変結果がマンモグラフィ上で見られたら、読影医師は、6か月以内にマンモグラフィを再実施するかあるいは直ちに穿刺生検を実施するよう指導することができる。指導手順は、コードとして、および(もしくは)コード化識別子構造のテキスト記述として記録する。複数のフォローアップ検査が推奨されている場合、そのような指導はそれぞれ個別のRECで送られる。

### **Confirming procedure 処置確認(CNP)**

処置確認OBX接尾辞は、IMP OBXに報告された診断を確定するのに使用される追加検査を識別する。たとえば、電子顕微鏡を使って外科病理学診断を確定する場合、電子顕微鏡「OBX-3-検査項目」用識別子は、処置確認を表す接尾辞の付いた検査IDの値フィールドとして保管されるだろう。処置確認は、外科病理学レポートにおいて最も重要である。しかし処置確認は内視鏡検査などのサービスでも使用され、処置確認として生検や培養などを実施したと記録することもできる。

### **Procedure medication 処置投薬治療(MED)**

接尾辞MEDの付いたOBX-3-検査項目は、造影剤の投薬、生理反応を引き起こすことを目的とした投薬(ストレス試験などを実施するために)、あるいは事前投薬など、手順の一部として投薬を実施した場合その薬剤に関する情報が含まれていることを示す。患者が複数の投薬を受ける場合、それぞれの薬剤は個別のOBX投薬セグメントで報告すべきである。伝送システムで投薬にコードを利用できる場合、そのようなコードはOBX-3-検査項目の第1成分として記録する。薬剤名と(または)投薬量は、OBX-5-検査結果値の第2成分に含むことができる。

### **Anatomic site 解剖部位(ANT)**

単一レポートに複数部位についての検査を含むような診断観察がある。たとえば患者が胆嚢手術に伴い虫垂切除術を受けた場合、両検体に対する病理学者の病理診断は通常、1つのレポートの単一検体番号に含まれるだろう。それぞれ個別の部位は、接尾辞ANT(OBX-3-検査項目)を持つ個別のOBXセグメントとして報告されることになる。

### **Devices 装置(DEV)**

要求があれば、検査の実施に使用した器具あるいは装置を検査の追加“結果”として転送することができる。この場合、OBX-3-検査項目の接尾辞はDEVである。たとえば、臨床検査室の自動化装置、放射線科の画像装置とそのモデル番号、病棟の自動血圧測定器など。装置の識別子はいずれコードとして指定されることが予想されるので、コード化された入力値として装置を指定する。とりあえず当初は、装置関連情報のほとんどをCE識別子の第2成分のテキストとして転送すると期待される。

### **Serial# Device / Instrument 機器/器具の連番(SER)**

必要に応じ、検査に使用した機器や器具の製造番号などの連番を表記する場合に用いる。

### **Gross or general description 概略記述もしくは一般記述(GDT)**

一般記述を表す接尾辞により、診断検査の記述成分が識別される。解剖病理学の場合には、一般記述は検体についての概略記述に適用される。記述が複数のパラグラフから成る場合、受信コンピュータ側でパラグラフをパラグラフとして表示できるようにするため、パラグラフは反復区切り文字により分離すべきである。レポートが簡潔に表現できる通常検査やEKG検査などの場合は、診断セグメントですべての情報を表現し尽くしていれば、レポート用記述セグメントを含む必要はない。

## Secondary or microscopic description 2次の記述もしくは詳細記述(MDT)

ほとんどの検査では2次の記述は必要ないだろう。しかし、外科病理学の場合には、詳細記述はレポートの独立箇所として存在する。それは顕微鏡を通して見られるような顕微鏡組織検査について記述する。詳細記述は、OBX-3-検査項目の接尾辞にMDTを指定したセグメントで送られる。

## Technician comment 医療技術者コメント(TCM)

医療技術者がコメントを記述するのに使用するフリーテキストであり、OBX-3-検査識別子の接尾辞がTCMである結果セグメントに保管される。このコメントの内容は通常、処置を実施する際の技術情報である。

## Addendum note 追加情報メモ(ADT)

オリジナルの叙述の後に追加情報として加えられ、レポートの個別のラベル付きセクションとして送られる情報を報告するのに使用する。

## Diagnosis (problem) onset date-time 診断(プロブレム)開始日時(ITM)

プロブレムが存在するとはじめて認識された日時を記録するのに使用。

## Diagnosis (problem) resolution date-time 診断(プロブレム)終了日時(RTM)

プロブレムが治療されたか軽減した日時を記録するのに使用。

## Comparison study 比較検査(CMS)

診断レポートの読み手が現在の検査結果を以前の検査結果と比較する場合、この接尾辞により、比較検査の性質を個別の結果として報告することができる(つまり検査IDの接尾辞がCMSであるセグメントを持つOBXセグメント)。他の任意の比較値が転送されていれば、他の比較OBXセグメント内の検査IDによりテストが識別されるので、通常これは必要とされない。

## Comparison date-time 比較日時(CMT)

診断処置の読み手が以前の検査結果と現在の検査結果を比較する場合、この接尾辞により、以前の検査の日時を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

## Comparison results 比較結果(CMR)

診断処置の読み手が、現在の結果を同じ患者に関する以前の結果と比較する場合、この接尾辞により、以前の結果(診断)を個別の結果として現行レポートで報告することができる。

## Comparison change 比較変化(CMC)

診断部門が現在の検査と以前の検査の比較を報告する場合、この接尾辞を使って変化の程度を個別の結果としてレポートに報告する。(たとえば、大幅に悪化、悪化、最小限悪化しないこと、変化なし、少し回復、回復、非常に回復、正常に回復)現行の書き取りレポートでは、比較に関する情報は通常、検査記述に含まれる。上に列記した比較接尾辞の規定は、この情報を個別の成分として送信しなければならないという意味ではない。単に比較変数を使用できるという意味である。システム側で個別のレポート成分としてこの情報を転送したい場合、これらの接尾辞により所望の比較を選択することができる。

## Predicted 推定(PRD)

多くの肺活量測定の場合がそうであるように、検査に推定値がある場合、この接尾辞により推測と実測定が区別される。最大肺活量を表すAS4コードは94010. 1である。推定される最大肺活量は94010. 1&PRDになる。

## Percent of predicted 推定率(PPR)

これは(実測)/(推測)により計算される観察である。最大肺活量の場合、推定率は94010. 1&PPRとなる。

## After drug observed 投薬後検査(AFD)

投薬の前後に検査を実施する場合がある。これは特に肺活量測定で生じる。投薬前検査は基本IDにより識別される。投薬後測定は接尾辞「AFD」により識別される。最大肺活量に基本コード「AS4」



を使用して、投薬後結果は94010. 1&AFDとして特定される。

### Predicted value after drug 投薬後推測値(ADP)

投薬後推測値は、接尾辞「ADP」により識別される。上記のパターン例に従い、94010. 1&ADPとなる。

### Percent predicted after drug 投薬後推測率(APP)

投薬後の推測率は、基本単位コードへ接尾辞「APP」を適用することで識別される—— 最大肺活量にAS4コードを使用して94010. 1&APPとなる。

### Timing Information タイミング情報(TIM)

TIM属性OBX結果セグメントは、波形チャンネルをグループ化する与えられた検査サブIDにおいて、第1のデータポイントの日付および時間を確立する。波形データの時間シーケンスでギャップがある場合、これは、同じ検査サブIDを備えた事後のWAV属性結果セグメントに先立ち、新しいTIM属性結果セグメントの送信によって示されるべきである。

### Channel Definition Data チャンネル定義データ(CHN)

CHN属性OBX結果セグメントは、デジタルでサンプリングされた時系列波形のための1つ以上の記録チャンネルを定義する。OBX-5-検査値フィールドは補足チャンネルを定義するために反復することがある。

### Waveform Digital Data 波形デジタルデータ(WAV)

WAV属性OBX結果セグメントは、実際の波形データ(アナログ/デジタル変換器(ADC)またはサンプリングされた時系列デジタルデータ)を送信するためである。WAV属性結果セグメントは、それらの対応チャンネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に検査サブIDを介して関係している。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連したWAV属性結果セグメントに含まれていた、多重化データのチャンネルの数を指定する。すべてのチャンネルに対する多数の連続の時間での波形データの与えられたセットは、単一のWAV属性結果セグメント中で送信される(ただし検査値フィールドの長さがOBXセグメントの最大定義フィールド長さの65536を超過しなければである)。または多数の連続のWAV属性結果セグメント中で送信される。このときは、おそらく他の種類の点在了結果セグメントとともにである(例えば注釈、すなわちコメントを含んで)。

WAV属性結果セグメントのデータ型はNA(数値の配列)またはMA(多重化される配列)である。NAデータ型を使用すると、データ値は「チャンネルブロック」、すなわち「多重化されていない」書式で記録される。各チャンネルのためのデジタルサンプルは、成分の区切記号を使用して分離される。また、連続のチャンネルは、反復区切記号を使用して分離される。MAデータ型を使用すると、データ値は「多重化チャンネル」の書式で記録される。すなわち、第1時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が最初に送信される。次に第2時間サンプルの値(すべてのチャンネル)が送信される。以下同様にしてすべてのサンプルが送信されるまで続く。各チャンネルのデジタルデータは成分区切記号によって分離される。また、連続のデータは反復区切記号によって分離される。チャンネル多重化書式が使用できるのは、多重化チャンネルがすべて同じ有効なサンプリング周波数を持っているときだけである。

### Waveform Annotation 波形注釈(ANO)

ANO属性OBXセグメントが使用されるのは、波形注釈(波形記録中に与えられたときに関連したコード化された入力)を送信するためである。ANO属性結果セグメントは、それらの対応するチャンネル定義(CHN属性OBX結果セグメント)に対して、検査サブIDを介して参照される。CHN属性結果セグメントの中で定義されたチャンネルの数は、それに関連した任意のANO属性結果セグメントに含まれる注釈のチャンネルの数を指定する。

ANO属性結果セグメントのデータ型はCEである。連続のチャンネルへの注釈コード化入力は、反復区切記号を使用して分離される。隣接する反復区切り記号が使用されるのは、チャンネルの注釈コード化入力が多重チャンネルの結果セグメントの中になくするときである。値については表0317を参照。

使用者定義表 0317 - Annotations

値	内容
---	----

9900	ベーススパイク
9901	SASマーカー
9902	感知マーカー
9903	ビートマーカー
9904	etc

### 3.7.3 検査結果コメントの例

検査結果コメントは検査結果のOBXに続くOBXで表現する。コメントの値型はSTやTXが代表的と考えられるがコメントコードでの運用しか出来ない場合は二者間の協議で値型CEでコードでの運用も可能である。出来る限りコメント内容に制限のないフリーテキストを推奨する。MEDIS暫定版では統一結果コメントを定めていたのでその場合のsuffixも参考にされたい。下記はその例である。

```
OBX||NM|3A016000002327101^A/G比^JC10||2.33||1.30-2.00|H|||F      検査結果
OBX||CE|3A016000002327101&TCM^^JC10||E01^参考値です^L|||F      そのコメント
```

MEDIS-DC臨床検査データ交換規約暫定版 結果コメント

コメントグループ	記号	コメント内容	suffix
(A) 検査材料に関する メッセージ	A 0 1	凝固が認められました	TCM
	A 0 2	溶血しておりました	TCM
	A 0 3	乳びしておりました	TCM
(B) 検査方法に関する メッセージ	B 0 1	高値のために希釈いたしました	TCM
	B 0 2	検体量不足のため希釈検査いたしました	TCM
	B 0 3	検体状態により希釈検査いたしました	TCM
	B 0 4	抗補体作用により希釈検査いたしました	TCM
	B 0 5	濃縮検査いたしました	TCM
(C) 結果値を補足する メッセージ	C 0 1	再検済です	TCM
	C 0 2	検体量不足のため再検できませんでした	TCM
	C 0 3	弱い反応が認められました	TCM
	C 0 4	非特異性反応が認められました	TCM
	C 0 5	抗補体作用が認められました	TCM
	C 0 6	薬剤の影響が考えられます	TCM
	C 0 7	報告書の参照をお願いいたします	TCM
	C 0 8	別紙の参照をお願いいたします	TCM
(D) 単位・基準値に関する メッセージ	D 0 1	単位が変更になっております	TCM
	D 0 2	基準値が変更になっております	TCM
(E) 参考値に関する メッセージ	E 0 1	参考値です	TCM
	E 0 2	溶血検体のため参考値です	TCM
	E 0 3	乳び検体のため参考値です	TCM
	E 0 4	ビリルビン高値検体のため参考値です	TCM
	E 0 5	フィブリン析出のため参考値です	TCM
	E 0 6	非特異性反応が認められ参考値です	TCM
	E 0 7	検体量不足のため参考値です	TCM
	E 0 8	指定外材料のため参考値です	TCM
	E 0 9	凝集のため参考値です	TCM
	E 1 0	凝固のため参考値です	TCM
	E 1 1	細胞崩壊のため参考値です	TCM
	E 1 2	汚染の影響が考えられますので参考値です	TCM
	E 1 3	リンパ球（細胞数）が少ないため参考値です	TCM
	E 1 4	除蛋白不十分につき参考値です	TCM
	E 1 5	指定外容器のため参考値です	TCM
	E 1 6	検査材料不備のため参考値です	TCM
	E 1 7	時間経過のため参考値です	TCM
	E 1 8	混濁検体のため参考値です	TCM
	E 1 9	採取方法不相当のため参考値です	TCM
	E 2 0	パターン不良のため参考値です	TCM
E 2 1	自己抗体陽性につき参考値です	TCM	
E 2 2	他成分の重複が考えられます	TCM	
(F) 後日報告に関する メッセージ	F 0 1	後日報告いたします	TCM
	F 0 2	再検中です	TCM

	F 0 3	高値のため再検中です	T C M
	F 0 4	低値のため再検中です	T C M
(G) 検査中止に関する メッセージ	G 0 1	検体量不足のため検査不可能でした	T C M
	G 0 2	溶血検体のため検査不可能でした	T C M
	G 0 3	乳び検体のため検査不可能でした	T C M
	G 0 4	凝固検体のため検査不可能でした	T C M
	G 0 5	部分凝固のため絶対数は出ません	T C M
	G 0 6	ビリルビン高値検体のため検査不可能でした	T C M
	G 0 7	非特異性反応が認められ検査不可能でした	T C M
	G 0 8	測定感度以下のため検査不可能でした	T C M
	G 0 9	抗補体作用が認められ検査不可能でした	T C M
	G 1 0	リンパ球（細胞数）不足により検査不可能でした	T C M
	G 1 1	薬剤の影響が認められ検査不可能でした	T C M
	G 1 2	細胞崩壊のため検査不可能でした	T C M
	G 1 3	検査材料が異なるため検査不可能でした	T C M
	G 1 4	定性結果が陰性のため定量検査は中止いたしました	T C M
	G 1 5	データ値は換算できませんでした	T C M
	G 1 6	未知物質干渉のため検査不可能でした	T C M
	G 1 7	増殖不良のため分析できませんでした	T C M
	G 1 8	データは検出できませんでした	T C M
	G 1 9	検査不可能でした	T C M
	G 2 0	検査を取消いたしました	T C M
(Z) 運用時にユーザの要望により 設定するコメント Z 0 1 ~ Z 2 0			A D T

### 3.8 臨床検査依頼・検査結果セグメント詳細

セグメントの解説の最初にセグメント属性図を設けている。以下にその説明をまとめる。

- SEQ : セグメントIDに続くフィールド連番
- LEN : フィールドの最大長
- DT : フィールドのデータ型 (データ型の解説を参照)
- OPT : フィールドにおける値の省略の可否
  - R - 必須
  - O - オプション
  - C - トリガー事象や他のフィールドの状況による
  - X - 特定のトリガー事象では不用
  - B - 旧バージョンとの互換性のために残っているフィールド
- RP# : フィールド成分の反復の可否
  - N 反復不可
  - Y 反復可、反復回数の制限がある場合続く数値で指定 (整数) 反復数の上限
- ITEM# : HL 7 規約全体で一意に付けられたフィールド番号
- ELEMENT NAME : フィールドの名称

#### 3.8.1 MSH - message header segment メッセージ・ヘッダ・セグメント

MSHセグメントは、メッセージの構文の目的、発信源、宛先、特性を定義する。

図 2-8. MSH attributes

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	1	ST	R		00001	Field Separator フィールド区切文字
2	4	ST	R		00002	Encoding Characters コード化文字
3	180	HD	O		00003	Sending Application 送信アプリケーション
4	180	HD	O		00004	Sending Facility 送信施設
5	180	HD	O		00005	Receiving Application 受信アプリケーション
6	180	HD	O		00006	Receiving Facility 受信施設
7	26	TS	O		00007	Date/Time Of Message メッセージ日付/時間
8	40	ST	O		00008	Security セキュリティ
9	7	CM	R		00009	Message Type メッセージ型
10	20	ST	R		00010	Message Control ID メッセージ制御ID
11	3	PT	R		00011	Processing ID 処理ID
12	60	VID	R		00012	Version ID バージョンID
13	15	NM	O		00013	Sequence Number シーケンス番号
14	180	ST	O		00014	Continuation Pointer 継続ポインタ
15	2	ID	O		00015	Accept Acknowledgment Type 受諾肯定応答型
16	2	ID	O		00016	Application Acknowledgment Type アプリ肯定応答型
17	2	ID	O		00017	Country Code 国コード
18	16	ID	O	Y	00692	Character Set 文字セット
19	60	CE	O		00693	Principal Language of Message 主要言語
20	20	ID	O		01317	Alternate Character Set Handling Scheme

#### MSHフィールド定義

##### MSH-1 Field separator フィールド区切文字 (ST) 00001

定義： セグメントIDと最初の実フィールド(MSH-2-コード化文字)間のセパレーター。そのようなセパレータとしての他に、残りのメッセージでセパレータとして使う文字を定義する。推奨値は | である。

##### MSH-2 Encoding characters コード化文字 (ST) 00002

定義： 次の順番で並べられた4文字、つまり、成分セパレータ、反復セパレータ、エスケープ文字、副成分セパレータ。推奨値は ^~\& である。メッセージ区切文字の解説を参照。

**MSH-3 Sending application 送信アプリケーション (HD) 00003**

定義： 送信アプリケーションを識別するために用いる。

**MSH-4 Sending facility 送信施設 (HD) 00004**

定義： 送信元施設を区別するため送信側の施設コードや略称などをセットする。

**MSH-5 Receiving application 受信アプリケーション (HD) 00005**

定義： 受信アプリケーションを識別するために用いる。

**MSH-6 Receiving facility 受信施設 (HD) 00006**

定義： 受信先施設を区別するため受信側の施設コードや略称などをセットする。

**MSH-7 Date/time of message メッセージ日時 (TS) 00007**

定義： 送信システムがメッセージを作成した日時。時間帯を指定した場合、それはメッセージ全体でデフォルトの時間帯として使われる。

**MSH-8 Security セキュリティ (ST) 00008**

定義： セキュリティの実装に関する情報であるが、その使用法は未定である。

**MSH-9 Message type メッセージ型 (CM) 00009**

成分： <message type (ID)> ^ <trigger event (ID)> ^ <message structure (ID)>

定義： 第1成分は、表0076 - メッセージ型にリストされているメッセージ型である。第2成分は、表0003 - イベント型コードにリストされているトリガー・イベント・コードである。メッセージ構造を示すために表0354 メッセージ構造を指定することもできる。受信システムはこのフィールドを使い、認識すべきデータ・セグメントを知り、また、これを転送するアプリケーションを知る。（マスターファイルに関してはマスターファイルの章を参照）

**表 0076 - Message type メッセージ型 (検査依頼結果関連のみ掲載)**

Value	Description
ORM	Order message オーダーメッセージ
ORU	Observ result/unsolicited 検査結果

**表 0003 Event type イベント型 (検査依頼結果関連のみ掲載)**

Value	Description
O01	ORM - Order message オーダーメッセージ
R01	ORU - Unsolicited transmission of an observation 検査結果転送
W01	ORU - Waveform result, unsolicited transmission of requested information 波形型結果転送

**表 0354 - Message structure (検査依頼結果関連のみ掲載)**

Value	Events
ORM O01	O01
ORU R01	R01
ORU W01	W01

**MSH-10 Message control ID メッセージ制御ID (ST) 00010**

定義： メッセージを一意に識別する番号または他の識別子。

**MSH-11 Processing ID 処理ID (PT) 00011**

成分： <processing ID (ID)> ^ <processing mode (ID)>

定義： メッセージを処理するかどうか決めるのに使用する。

**表 0103 - Processing ID 処理ID**

Value	Description
D	Debugging デバギング
P	Production プロダクション
T	Training トレーニング

表 0207 - Processing mode 処理モード

Value	Description
A	Archive
R	Restore from archive
I	Initial load
T	Current processing, transmitted at intervals (scheduled or on demand)
not present	Not present (the default, meaning <i>current</i> processing)

**MSH-12 Version ID バージョンID (VID) 00012**

成分: <version ID (ID)> ^ <internationalization code (CE)> ^ <internal version ID (CE)>

定義: 受信システムは、バージョンIDを認識しメッセージが確実に解釈されるようにする。

表 0104 - Version ID

Value	Description
2.0	Release 2.0 September 1988
2.0D	Demo 2.0 October 1988
2.1	Release 2.1 March 1990
2.2	Release 2.2 December 1994
2.3	Release 2.3 March 1997
2.3.1	Release 2.3.1 May 1999

**MSH-13 Sequence number シーケンス番号 (NM) 00013**

定義: 値がヌルでなければ、シーケンス番号管理が行われているものとする。送信側では受信アプリケーション・施設毎にシーケンス管理することとし、増分は1とする。

**MSH-14 Continuation pointer 継続ポインタ (ST) 00014**

定義: アプリケーションに特有の方法で継続を定義するのに使用する。

**MSH-15 Accept acknowledgment type 受諾肯定応答型 (ID) 00015**

定義: このメッセージに回答して受諾肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値を表0155に示す。

**MSH-16 Application acknowledgment type アプリケーション肯定応答型 (ID) 00016**

定義: このメッセージに回答してアプリケーション肯定応答を返すことが要求される条件を定義する。拡張肯定応答モードで要求される。取りうる値を表0155に示す。

表 0155 - Accept/application acknowledgment conditions アプリケーション肯定応答型

Value	Description
AL	Always 常に
NE	Never 決してない
ER	Error/reject conditions only エラー/リジェクト状態のみ
SU	Successful completion only 正常終了時のみ

注記: MSH-15とMSH-16が省略(または両方ともnull)の場合、オリジナルの肯定応答モード規則が使われる。

**MSH-17 Country code 国コード (ID) 00017**

定義: メッセージの発信国を定義する。主に通貨単位などのデフォルト要素を指定するのに使用される。ISO 3166は、使用可能な国コードのリストを提供する。

**MSH-18 Character set 文字セット (ID) 00692**

定義: メッセージ全体に使用する文字セットコードを定義する。有効な文字セットを表0211に示す。

表 0211 - Alternate character sets 文字セット

Value	Description
ASCII	The printable 7-bit ASCII character set . (省略時)
8859/1	The printable characters from the ISO 8859/1 Character set
8859/2	The printable characters from the ISO 8859/2 Character set

8859/3	The printable characters from the ISO 8859/3 Character set
8859/4	The printable characters from the ISO 8859/4 Character set
8859/5	The printable characters from the ISO 8859/5 Character set
8859/6	The printable characters from the ISO 8859/6 Character set
8859/7	The printable characters from the ISO 8859/7 Character set
8859/8	The printable characters from the ISO 8859/8 Character set
8859/9	The printable characters from the ISO 8859/9 Character set
ISO IR14	Code for Information Exchange (one byte)(JIS X 0201-1976)
ISO IR87	Code for the Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0208-1990)
ISO IR159	Code of the supplementary Japanese Graphic Character set for information interchange (JIS X 0212-1990)
<b>注:</b> 文字セットにかかわらずフィールド区切り文字は 7-bit ASCII 文字セットである。	

異なる文字セットの反復はデータ型PNとXPNのみに適用される。本フィールドの指定がないもしくは反復の第一成分がNullの場合はsingle-byte character set (ASCII (ISO IR-6))が適用される。本フィールドが出現し第一成分が特定される場合この文字セットがメッセージのデフォルト文字セットとなる。これはシングルバイト文字セットでなければならない。(例えば ISO-IR 6, ISO-IR 13, ISO-IR 14, ISO-IR 100, etc.) 以降の成分は代替文字セットが使用できダブルバイト文字セットも含まれる。(例えば ISO IR87) デフォルト文字セットは常にシングルバイト文字セットであり、ISO-IR 6 (ISO 646) or ISO-IR 14 (JIS X 0201-1976)の G0 域である。  
半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。漢字を使用する場合~ ISO IR87が一般的で、さらにJIS補助漢字を使用する場合続けて~ ISO IR159とする。

**MSH-19 Principal language of message 主要言語 (CE) 00693**

定義: メッセージの主要言語を定義する。コードはISO 639を使用。

**MSH-20 Alternate character set handling scheme 文字セット操作法(ID) 01317**

定義: 文字セットを切り替えるためのエスケープシーケンス方式を定義する。表0356で示されるエスケープシーケンスを用いる。ISO 2022-1994を使用。

表 0356 - Alternate character set handling scheme

Value	Description
ISO 2022-1994	This standard is titled "Information Technology - Character Code Structure and Extension Technique". This standard specifies an escape sequence from basic one byte character set to specified other character set, and vice versa. The escape sequence explicitly specifies what alternate character set to be evoked. Note that in this mode, the actual ASCII escape character is used as defined in the referenced ISO document. As noted in 1.6.1., escape sequences to/from alternate character set should occur within HL7 delimiters. In other words, HL7 delimiters are basic one byte characters only, and just before and just after delimiters, character encoding status should be the basic one byte set. This value is allowed only for HL7 v. 2.3.1.
2.3	The character set switching mode specified in HL7 2.3, sections 2.8.28.6.1, and 2.9.2. Note that the escape sequences used in this mode are "HL7 escapes sequences" as defined in HL7 2.3, sec. 2.9, and do not use the ASCII "esc" character, as defined in ISO 2022-1994
<null>	This is the default, indicating that there is no character set switching occurring in this message.

### 3.8.2 NTE - notes and comments segment 注釈コメントセグメント

注釈とコメントを送るためのメッセージに共通のフォーマットである。他のメッセージやセグメントで表現可能な事項をNTEセグメントで代用してはならない。受信アプリケーションではNTEセグメントの内容を表示や印刷する以外のシステムの取り扱いはされない事を前提とする。

図 2-22. NTE attributes

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM #	ELEMENT NAME
1	4	SI	O		00096	Set ID - NTE セットID-NTE
2	8	ID	O		00097	Source of Comment コメント発生源
3	64k	FT	O	Y	00098	Comment コメント
4	60	CE	O		01318	Comment Type

#### NTEフィールド定義

##### NTE-1 Set ID - NTE セットID-NTE (SI) 00096

定義: ひとつのメッセージ中に複数のNTEセグメントが含まれる場合に使用される。番号付けについては、アプリケーション・メッセージの定義に記述されなければならない。

##### NTE-2 Source of comment コメント発生源 (ID) 00097

定義: コメントの発生源を明示する。これは導入の際にサイトで拡張される可能性がある。

表 0105 - コメント発生源

Value	Description
L	Ancillary (filler) department is source of comment 実施者がコメント発生源である
P	Orderer (placer) is source of comment 依頼者がコメント発生源である
O	Other system is source of comment 他のシステムがコメント発生源である

##### NTE-3 Comment コメント (FT) 00098

定義: 先行するセグメントに従属するコメント。

##### NTE-4 Comment type (CE) 01318

使用者定義表 0364-Comment type

Value	Description
PI	Patient Instructions
AI	Ancillary Instructions,
GI	General Instructions
1R	Primary Reason
2R	Secondary Reason
GR	General Reason
RE	Remark
DR	Duplicate/Interaction Reason



### 3.8.3 PID - patient identification segment 患者識別セグメント

PIDセグメントは、患者識別情報を通信する主要な手段としてすべてのアプリケーションによって使用される。このセグメントは患者を永久に識別する情報と調査情報を含むが、この大部分はそれほど頻繁に変化しない。

図 3-2. PID attributes PID属性

SEQ	LEN	DT	OPT	RP/#	ITEM#	ELEMENT NAME
1	4	SI	O		00104	Set ID - Patient ID セットID-患者ID
2	20	CX	B		00105	Patient ID (External ID) 患者ID(外部ID)
3	20	CX	R	Y	00106	Patient ID List 患者IDリスト
4	20	CX	B	Y	00107	Alternate Patient ID - PID 代替患者ID
5	48	XPN	R	Y	00108	Patient Name 患者氏名
6	48	XPN	O	Y	00109	Mother's Maiden Name 母親の旧姓
7	26	CM	O		00110	Date/Time of Birth 生年月日/年齢
8	1	IS	O		00111	Sex 性別
9	48	XPN	O	Y	00112	Patient Alias 患者別名
10	80	CE	O	Y	00113	Race 人種
11	106	XAD	O	Y	00114	Patient Address 患者住所
12	4	IS	B		00115	County Code 郡コード
13	40	XTN	O	Y	00116	Phone Number - Home 電話番号-自宅
14	40	XTN	O	Y	00117	Phone Number - Business 電話番号-勤務先
15	60	CE	O		00118	Primary Language 言語-患者
16	80	CE	O		00119	Marital Status 婚姻状況
17	80	CE	O		00120	Religion 宗教
18	20	CX	O		00121	Patient Account Number 患者会計番号
19	16	ST	B		00122	SSN Number - Patient SSN番号-患者
20	25	DLN	O		00123	Driver's Lic Num - Patient 運転免許証番号-患者
21	20	CX	O	Y	00124	Mother's Identifier 母親の識別子
22	80	CE	O	Y	00125	Ethnic Group 人種のグループ
23	60	ST	O		00126	Birth Place 誕生場所
24	1	ID	O		00127	Multiple Birth Indicator 多胎児誕生標識
25	2	NM	O		00128	Birth Order 誕生順序
26	80	CE	O	Y	00129	Citizenship 市民権
27	60	CE	O		00130	Veterans Military Status 退役軍人状況
28	80	CE	O		00739	Nationality 国籍
29	26	TS	O		00740	Patient Death Date and Time 患者死亡日時
30	1	ID	O		00741	Patient Death Indicator 患者死亡識別

#### PIDフィールド定義

##### PID-1 Set ID - patient ID セットID-患者ID (SI) 00104

定義：セグメントの反復が許されるメッセージについては、反復を識別するためにセットIDフィールドが使用される。例えば、交換及び照会のトランザクションは、セットID値1、2、3、などの多数のPIDセグメントを持つことができる。

##### PID-2 Patient ID 患者ID(外部ID) (CX) 00105

定義：患者がオフィスなどの外部の別の施設からきていればその施設のIDなどをここに表現する。これは多数の異種の会社や施設が共有することができるIDとなる。旧バージョン互換のためのフィールド、患者IDリストに統合。

##### PID-3 Patient ID List 患者IDリスト (CX) 00106

成分: <ID (ST)> ^ <check digit (ST)> ^ <code identifying the check digit scheme employed (ID)> ^ <assigning authority (HD)> ^ <identifier type code (IS)> ^ <assigning facility (HD)>

副成分 assigning authority: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

副成分 assigning facility: <namespace ID (IS)> & <universal ID (ST)> & <universal ID type (ID)>

定義：患者を一意的に識別するためのひとつ以上の施設によって使用されるID(たとえば患者ID

やカルテ番号、請求書番号など)。

ORMメッセージを使用せず伝票による検査依頼で本フィールドに該当する情報が得られない場合、ラボ側により付番されるIDを代入し付番組織を明示する。

#### **PID-4 Alternate patient ID - PID 代替患者ID (CX) 00107**

定義：第3のIDが患者を識別するために必要な場合使用。例えば訪問番号、訪問期日あるいは社会保障番号を含んでいる。旧バージョン互換のためのフィールド、患者IDリストに統合。

#### **PID-5 Patient name 患者氏名 (XPN) 00108**

成分： <family name姓 (ST)> ^ <given name名 (ST)> ^ <middle initial or name (ST)> ^ <suffix (e.g., JR or III) (ST)> ^ <prefix (e.g., DR) (ST)> ^ <degree (e.g., MD) (ST)> ^ <name type code名前タイプ (ID)> ^ <name representation code名前表示(ID)>

定義：患者氏名をデータ型XPNで表記する。氏名はMSH-18文字セットで指定した文字コードを使用する。例えばMSH-18にASCII-ISO IR87をセットした場合、PID-5はYamada^Tarou^^^^L^A~山田^太郎^^^L^I~ヤマダ^タロウ^^^^L^Pと表記できる。法律上の名前「L」を用いることが望ましく、反復の順序には意味を持たない。名前タイプコードは表0200 - Name type code、名前表示コードは表4000 - Name / address representation codeを用いる。

半角カタカナは全てのフィールドで使用しないようにすること。

姓と名の区別が困難な場合、姓のフィールドを代用するものとする。

患者の名札や検査検体のラベルなどと本フィールドの内容が同じであるよう運用に注意すべきである。

**表 0200 - Name type code 名前タイプコード (ID)**

Value	Description
A	Alias Name 別名
L	Legal Name 法的な名前
D	Display Name 表示名称
M	Maiden Name 旧姓
C	Adopted Name 養子名
B	Name at Birth
P	Name of Partner/Spouse
S	Coded Pseudo-Name to ensure anonymity
T	Tribal/Community Name
U	Unspecified

**表 4000 - Name / address representation code 名前/住所表示コード (ID)**

Value	Description
I	Ideographic (i.e., Kanji) 表意文字(漢字)
A	Alphabetic (i.e., Default or some single-byte) シングルバイト英数字
P	Phonetic (i.e., ASCII, Katakana, Hiragana, etc) 表音文字(ASCII,仮名)

#### **PID-6 Mother's maiden name 母親の旧姓 (XPN) 00109**

定義：母親の旧姓、同じラストネームを持つ患者を明確に識別するために使用する。本フィールドに出現する名前タイプは「M」である。

#### **PID-7 Date/Time of birth 生年月日 (CM) 年令 00110**

成分： YYYYLLDD[HHMM[SS[.SSSS]]][+/-ZZZZ]^<精度> ^<nnnu>

定義：患者の生年月日、新生児などは誕生時刻まで記述。

生年月日に続けて年令nnnuを記載することもできる、また年齢単位uとして Y 年令、L 月令、W 週令、D 日令を使用、省略時は年令Yとする。データ型はTSに^nnnuを付加したCM型で書式は YYYYLLDD[HHMM]^<精度> ^<nnnu>とする。例えば 19900301^^7 1990年3月1日生7才、^^10 10才、^^5D 5日齢など、和暦は不可。

#### **PID-8 Sex 性別 (IS) 00111**

定義：患者の性別、表0001を推奨する。

使用者定義表 0001 - 性別

Value	Description
F	Female女性
M	Male男性
O	Otherその他
U	Unknown未知

**PID-9 Patient alias 患者の別名 (XPN) 00112**

**PID-10 Race 人種 (CE) 00113**

定義：患者の同意を得て使用することができる。

**PID-11 Patient address 患者住所 (XAD) 00114**

定義：患者の現住所。

**PID-12 County code 郡コード (IS) 00115**

定義：患者の郡コード。

**PID-13 Phone number - home 電話番号－自宅 (XTN) 00116**

**PID-14 Phone number - business 電話番号－勤務先 (XTN) 00117**

**PID-15 Primary language 言語－患者 (CE) 00118**

定義：患者の主要な言語。

**PID-16 Marital status 婚姻状況 (CE) 00119**

使用者定義表 0002 - Marital status婚姻状況

Value	Description
A	Separated 別居
D	Divorced 離婚
M	Married 既婚
S	Single 未婚
W	Widowed 死別

**PID-17 Religion 宗教 (CE) 00120**

**PID-18 Patient account number 患者会計番号 (CX) 00121**

定義：料金、支払いなどがすべて記録される勘定によって割り当てられる数字。患者の会計を識別するために使用される。

**PID-19 SSN number - patient SSN番号－患者 (ST) 00122**

定義：患者の社会保障番号。

**PID-20 Driver's license number - patient 患者の運転免許証番号 (DLN) 00123**

成分： <license number (ST)> ^ <issuing state, province, country (IS)> ^ <expiration date (DT)>

定義：患者の運転免許証番号。いくつかのサイトは、患者を識別する一意的な番号としてこれを使用してもよい。第2の成分のデフォルトは患者が登録されている州である。

**PID-21 Mother's identifier 母親の識別子 (CX) 00124**

定義：例えば新生児用にリンク・フィールドとして使用される。典型的に、患者IDあるいは会計番号が使用されるかもしれない。

**PID-22 Ethnic group 人種のグループ (CE) 00125**

定義：患者の民族的起源を定義する。

**PID-23 Birth place 誕生場所 (ST) 00126**

定義：患者の誕生の場所を示す。

**PID-24 Multiple birth indicator多胎児誕生標識 (ID) 00127**

定義：患者が多胎児の一人であったかどうかを示す。Y/Nインジケータを使用。

**PID-25 Birth order 誕生順序 (NM) 00128**

定義：患者が多胎児の一人であった場合、誕生順序を示す値。

**PID-26 Citizenship 市民権 (CE) 00129**

定義：患者の市民権の国を示す。推奨値として、使用者定義表0171－国コード又はISO3166を参照すること。

**PID-27 Veterans military status 退役軍人の状況 (CE) 00130**

**PID-28 Nationality 国籍 (CE) 00739**

定義：患者の属する国籍や国グループを示す。市民権と違い複数指定可。

**PID-29 Patient death date and time 患者死亡日時 (TS) 00740**

定義：患者死亡日時、臨床研究や管理用。

**PID-30 Patient death indicator 患者死亡識別 (ID) 00741**

定義：患者が死亡したか否かY/Nで表現。